

# 寺子屋の教育と現在 —情報科に着目—



夜久 竹夫（日本大学）

2023. 8. 12.

第168回応用オートマトン研究会(WAAP168)

YGD-2023-005, CC BY-NC-ND

# 位置付け

	江戸東京ミュージアム[7],[8]	[2],[3],[4],[6]	今回
寺子屋史	◎	○	○
寺子屋教育内容	○	◎	○
現在の理系教育との比較			◎
現在の情報科教育との比較			◎

## 趣旨

現在の教育には問題有り。  
所蔵本[9]を基に寺子屋時代まで戻り、  
当時の教育を現在に活かす。

# 引用資料

1. 吉田太郎、寺子屋における歴史教育の研究、横浜国立大学教育紀要6, 39-59、1967  
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520853834878731904>
2. 石川松太郎、藩校と寺子屋、p238、1978、教育社
3. 久保田信之、江戸時代の人作り、74p、日本教文社、1978。
4. 丹和浩解説、寺子屋の学習と往来物、平成5(1993)展示を編集、東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ、1993  
<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/exhibition/orai>
6. 石川松太郎・小泉吉永編、往来物解題辞典、往来者倶楽部、平成13(2003)  
[http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a\\_r/B40.htm](http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a_r/B40.htm)
7. 東京都立図書館、「寺子屋」ってなに？、江戸東京デジタルミュージアム、2011  
[https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo\\_library/gakumon/page1-1.html](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo_library/gakumon/page1-1.html)
8. 高橋敏、寺子屋：驚くべき江戸時代の教育力、nippon.com、2021.3.16  
<https://www.nippon.com/ja/japan-topics/g01005/>
9. 夜久学館所蔵書籍。一覧表, 2023  
<http://www.yaku.org/shop/ichiranHyoKakakuType.html>
10. 夜久竹夫、寺子屋教育と現在、第168回応用オートマトン研究会資料。YGD-2023-005

# 要旨

寺子屋の概要・・・§ 2

教育内容：カリキュラムテキスト解説・・・§ 3

教育方法：個別教育、法則優先方式に注目・・・§ 4

現在との比較・・・§ 5

# はじめに

## 背景[1,2,3]

- 1500頃(室町時代) 寺子屋(寺院の学問指南)始まる
- 1591頃 近世始まる。総定住、総自営農、総富裕、地方文化、学芸興隆  
土地分配、家督相続、土地売買禁止、封建税制
- 1624-1644頃(江戸時代前期)商業出版一般化、貸し本業←木版印刷普及
- 1750頃(江戸時代中期) 寺子屋増加←文書主義
- 1850以降(幕末) 15000以上[1]、年間300開業[Wiki]  
江戸だけで1000~1300[Wiki]
- 1830-1844(天保期)著しく増加
- 1872 明治学制、小学校設置、仏教原理否定、地方文化改ざん、学年制
- 1872 寺子屋、新制小学校に代替
- 明治6~12 地租改正→土地売買自由化
- 1945頃 戦後教育、宗教除外・道徳原理隔離、画一教育
- 1948 均分相続制・定住否定・・・→地方文化衰退
- 1990 World Terakoya Movement (日本ユネスコ協会)
- 2000代 定住衰退、資産格差増、貧困層増加、自然破壊奨励、消費奨励、

## 動機

### 民度低下←近世の道德希薄化

- ・ 負債容認(←消費奨励) ←質実剛健軽視
- ・ 自然破壊容認(→金銭優先)←持続可能軽視
- ・ 格差容認(→犯罪増加)←近世文化軽視

### 民度低下の要因の一つ：教育

## 目的

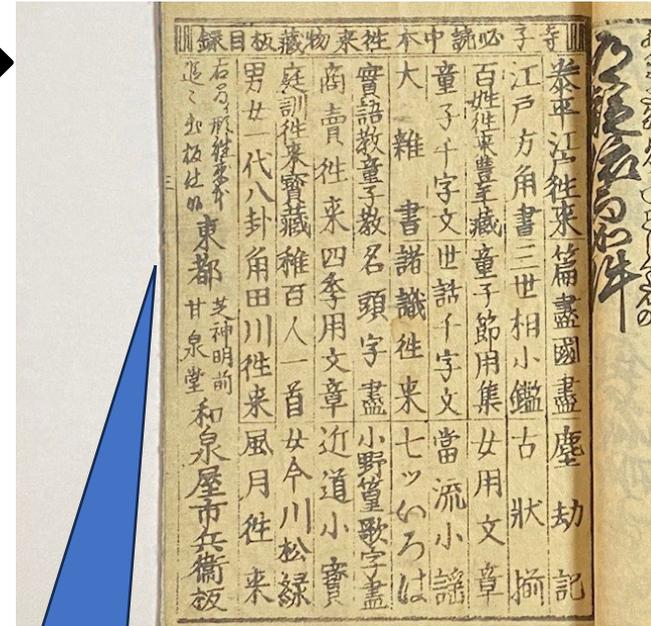
1. 寺子屋教育の内容の利点は？
2. 寺子屋の教育方法の利点は？
3. 情報科への示唆

## 結果

1. 宗教、道德、文化を重視。原典(原理)を重視
2. 法則記憶→実践の順(法則優先)で教授。  
生徒：考えさせない。原典：教師が理解。  
・・・現在の理系教育と同じ構図
3. 情報科：原理原典を教師が無理解  
→①理系と同様に法則優先、②原典理解促進

## 2. 準備[1,2,3]

基本テキスト27種 外観↓ 目録→



甘泉堂板百姓往  
来卷末より

参考：古書解読法

- くずし字学習。かな47字3体前後合計100字程度覚える。AIくずし字解読アプリ。

## 2. 1 寺子屋のスペック

運営者	寺院、私塾: 教師、共同体: 村
規模	個人塾規模、10~100人
対象	幼児~小児, 5,6歳位~15,16歳位
教師	僧侶、武士、一般 (男性、女性)
内容	語彙科、教訓科、地歴社会、暦占、 職業科、芸術、理数科
関連法	当初不明(自然発生), 1811幕府:手習師匠宛9ヶ条お触れ
全国組織	不明, 但しカリキュラムと教科書ほぼ全国共通
入学時期	随時、春が多かった、入学は慶事
進級	有り、随時
終了後	就職、藩校、一般塾

## 2. 2 寺子屋数の推移と 識字率

### 寺子屋数の推移

18世紀江戸時代中期 寺子屋増加←文書主義

1850以降(幕末) 15000以上[1]、年間300開業[Wiki]

江戸だけで1000～1300[Wiki]

1830-1844(天保期)著しく増加

識字率: 江戸: 1850(嘉永年間) 70～86%

(cf. 欧米20%前後)

## 2. 3 寺子屋教育の特徴

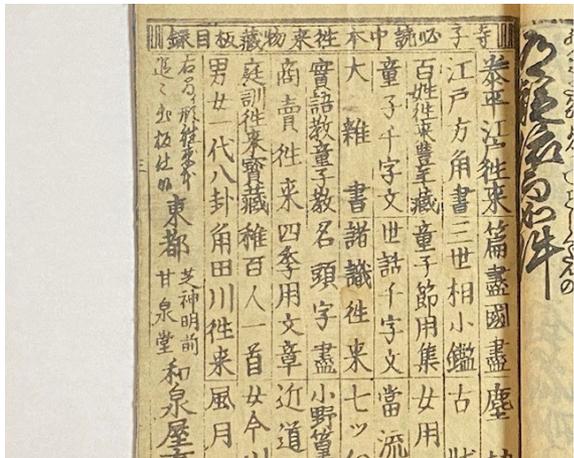
設立の目的：読み書き算盤＋神儒仏＋作法

結果：経済成長、民度向上、学芸の興隆

特徴：誰でも古状が読める、現在の米中欧と同じ

注。主要国で現代日本人だけ200年前の古状を読めない！  
読めるのは楷書(古典中国語)だけ  
歴史を知らないのと同じ。昔は子供でも読めた。

# 2. 4 教科書[4]



- 全部で27種前後
- 20頁/冊,300字/頁程度、1冊600字程度が多い
- 27種のリスト例 ↓→

語彙科	生活・教訓科	地理・歴史	職業科	学問・芸術
4 <a href="#">童子千字本</a> (子供用千字) 10 <a href="#">篇盡國盡</a> 13 <a href="#">世話千字本</a> (漢字千字集) 15 <a href="#">名頭字盡</a> (苗字) 16 <a href="#">四季用文章</a> (手紙例集) 21 <a href="#">女用文章</a> (かな文例集) 23 <a href="#">七ついろは</a> (かな単漢字) 24 <a href="#">小野篁歌字盡</a> (歌漢字集) 25 <a href="#">近道小寶</a> 12 <a href="#">童子節用集</a>	生活 1 <a href="#">泰平江戸往来</a> (江戸年中行事) 8 <a href="#">庭訓往来</a> (年中行事) 27 <a href="#">風月往来</a> 教訓・宗教 6 <a href="#">実語教童子教</a> 、著者不明 26 <a href="#">女今川小緑</a> 暦占 5 <a href="#">大雑書</a> (暦占) 9 <a href="#">男女一代八卦</a> (当時の必須知識、占い) 11 <a href="#">三世相小鑑</a> (占)	地理科 2 <a href="#">江戸方角書</a> (江戸内地理) 18 <a href="#">角田川往来</a> (隅田川地理) 歴史科 20 <a href="#">古状揃</a> (古文書集)	3 <a href="#">百姓往来</a> (農業マニュアル) 7 <a href="#">商売往来</a> (商業マニュアル) 14 <a href="#">諸識往来</a> (士農工商別の職業心得)	17 <a href="#">稚百人一首</a> (子供用) 22 <a href="#">当流小謡</a> (楽譜付歌謡集) 19 <a href="#">塵劫記</a> (数学入門書、ネズミ算、などの用語の原典とされる) 数字は上記目録内の掲載順序

## 2. 5 その他の主な教科書

入山前指導	教訓科	社会科
☆初登山教訓書(初登山=入学)	☆今川状、今川貞世(27項目の教訓)	☆五人組帳前書 前文 50ヶ条前後 ☆貞永式目(御成敗式目)

## 2. 6 地域差異

地方文化：定住政策により興隆→(例)泰平江戸往来(§ 4.4)

地域間・都市農村間格差有り

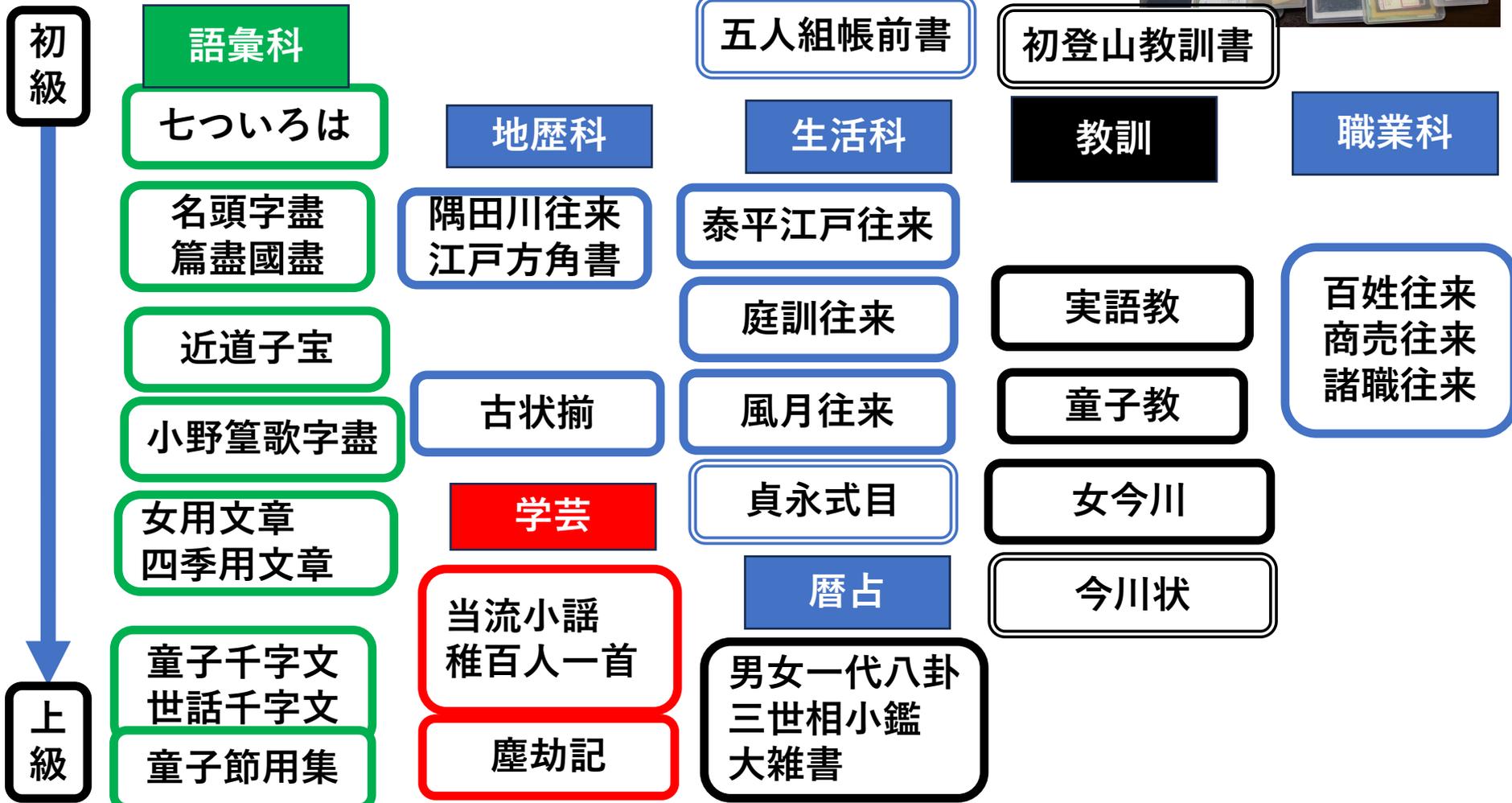
主な出版社所在地：江戸、京大阪、仙台、福岡

但し、共通語、共通文書形式(書簡、書籍、行政文書、商業文書等)有り

# 3. 本論

## 3.1 カリキュラムの概要[4]

27タイトル



# 3. 2 入山前

注。入山、登山：入学、登校の意(←寺発祥)

☆初登山教訓書(はつとうざんきょうくんしよ)、  
梶原平三・曾我太郎(伝)、45字 x 15p約700字、  
宝永2(1625)

寺子の筆硯は武士の武具と同じ・・・  
から始まる教訓

☆寺子新式目、笹山梅安(教師用マニュアル↓)



# 3. 3 語彙科(国語科)

単字

○七ついろは いろは47文字x同音単漢字7種計約500字

○名頭字尽くし 文政11年版は111文字x五体の漢字

○篇尽くし国尽くし,18p,国名漢字熟語

○近道子宝、平井白休、正徳3(1713)

衣食住方角等の基本語彙と心得

○古状揃、白山人北為、天保15(1844)

文学入門書を兼ねる。腰越状他

○女用文章、居初津奈、元禄頃(1688~1704)

かな文例

○四季用文章、天保9(1838),手紙文例集

○世話千字文、木村明啓編述、文政9(1826)、元は周興嗣(470~521)

文章

○童子節用集,明和7(1770),30p,子供用のいろは引き辞書

# 3. 4 教訓科・宗教科

○実語教、(俗説)弘法大師、平安期成立

五言96句合計480字の教訓漢詩集

「人肥えたるがゆえに尊からず...」・・・財より智が大事

「善を見ては速やかに行き悪を見ては速やかに避け(するな)」他

○童子教、僧安然(伝)、鎌倉期成立1377以前。

五言320句合計≒1560字の教訓集

「三宝には三礼...、神明には再拝...。人には一礼...」

「富めりと雖も心に欲多ければ是を名付けて貧人...」。。。

☆今川状、今川貞世了俊(1326-1418頃、今川義元の先祖)、1412

今川家家訓22ヶ条・・・杉並区今川周辺は今川氏の知行地(領地)

1. 不知文道武道終に不得勝利事

・・・

☆貞永式目(御成敗式目)、北条泰時、貞永元年(1232)

当時の基本法。51ヶ条(17条憲法の補完、3倍)。習字の手本。

# 3. 5 社会科[1]

**五人組帳前書**、江戸幕府、1700年代が多い

農家向け法令集, 時代により50条前後、続く本文は住民協定



**庭訓往来**(南北朝末期～室町前期成立推定)、僧玄恵著説あり、  
明和9(1772)

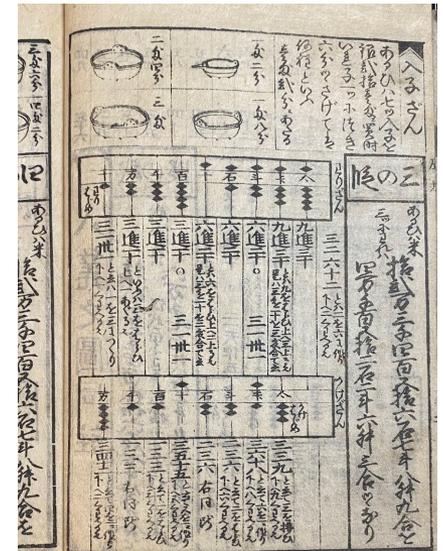
1か月毎に進状と返状、閏月に進状で合計25通の書状例。  
衣食住、職業、産物など日常生活に必要な単語と知識を学ぶ。

## 3. 6 職業科

- 百姓往来、浪花秃箒子、明和3(1766)  
作物・農作業の用語と技術、職業倫理(×脱税)
- 商売往来、堀流水軒、元禄7(1694)  
商品・取引の用語と技術、職業倫理(×偽物)
- 諸職往来、山田東作(賞月堂)、江戸後期  
「夫れ、士農工商は国家の至宝、日用万物  
調達の本源なり」、  
「(武)士は五常（仁義礼智信）が仕事」、  
にはじまる士農工商別の職業倫理。

# 3. 7 理数・芸術・暦占

- **塵劫記**、吉田光由、1627  
算数のロングセラー、入りこ算→
- **当流小謡**、安政4再刻  
「高砂や・・・」から始まる歌詞集
- **男女一代八卦**、1786以前、占い
- **三世相小鑑**、著者不明、江戸中期  
暦占



## 3. 8 寺子屋運営の本

### 3. 8. 1 寺子屋規則

寺子新式目、笹山梅安、元禄8(1695)天明 8 (1788)

手習い仕用集、笹山梅安、元禄6(1693)

### 3. 8. 2 教師用手引き

授業編、江村北海著・山村蘇門(序)、(1783)

## 3. 9 次の段階：一般書

主な千部振舞(ベストセラー)書物

南総里見八犬伝(曲亭馬琴)、傾城水滸伝(曲亭馬琴)、

東海道中膝栗毛(十返舎一九)、浮世風呂(式亭三馬)、

養生訓(貝原益軒, 1712)、解体新書(杉田玄白、1744)、

豆腐百珍(曾谷学川、1782)、江戸流行料理通(八百善, 1822)、

北斎漫画(北斎, 1814-1878)、江戸繁盛記(寺門静軒, 1831)、

江戸名所図会(齋藤長秋他, 1834, 1836)、武鑑(毎年発行)

# 4. 寺子屋の教育の特徴

個別指導（寺子屋方式）→塾  
法則優先→現在の理系教育  
宗教・道徳・文化重視  
地域文化重視、学問重視



## 4. 1 個別指導

個別指導：個別最適化・才能重視  
↔画一教育：個性は例外扱い



・・・寺子屋方式

# 4. 2 法則優先

書写→理解 の順。写した後で意味を教わる

注. 現在の理科教育: ①法則(定理) [○is△]: 覚える

②応用: 学ぶ、③原理: 触れない

覚えさせる ↔ 考えさせる

原理: 取り扱わない、  
教師の知識

宗教 五時八教 → . . . → 童子教  
道徳 四書五経 → . . . → 実語教 ・ 今川状  
文化 記紀万葉 → . . . → 庭訓往来

法則: 覚えさせる  
考えさせない

深遠な原理には触れず分かり易い法則だけ教える

cf. CS原理 . . . . . → CS法則

法則: 覚えさせる

原理: 教師の知識

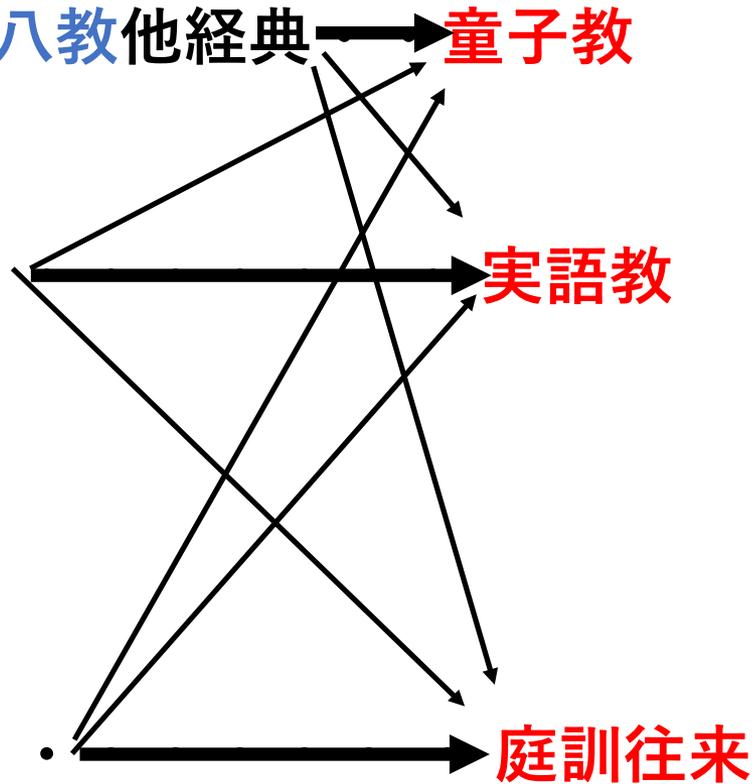
# 4. 3 宗教・倫理・文化重視

宗教：仏教・神仏混淆(国教)。五時八教他經典 → 童子教  
[六經典の画像]

道德：儒教。四書五經七書他 . . . → 実語教



文化：国学。記紀万葉平家物語等 . . . → 庭訓往来



. . . 比較・台湾

# 4. 4 地域文化重視

## 地域別行事

### 泰平江戸往来(自遣往来)

百姓往来

背景：（全戸定住・全戸自営・継続保証の政策）

①←全戸定住(代々居住)←家督相続制

封建税制(一定額納税すればあとは自由)(=現在,≠中世)←政策

4公6民(cf. 現在はほぼ5公5民)

全戸納税出来た(させた)＝“余裕”があった

②←全戸自営←土地所有

1戸当たり農地10町歩≈10,000平米(分配)

1村(約100戸)に1寺、1戸三代5人として1村約500人

全国約6万カ村、人口約3000万人

③←継続保証←土地売買禁止

マルクス、資本論、1867、  
“日本では自営農主体、  
．．．”

# 5. 評価：現在との関わり

- 指導形態：個別指導。学年制無し→個性・才能を伸ばす
- 教授法：形から教える←現在の理系教育方式。
- 宗教(人生)： 仏教、五時八教に依拠
- 道徳(倫理)： 儒教、四書五経に依拠
- 文化(教訓)： 記紀万葉・平家物語他に依拠

現在との、その他の相違(内容)：

宗教を覚えさせた→生き方「人生は修行」

道徳を覚えさせた→善悪夫々の程度「五常・仁義礼智信」

教訓を覚えさせた→共通作法

伝統的行事を覚えさせた

→・・・→「道徳・作法」の格差が拡がらない

# 比較：現在に活かせる項目

現在の倫理教育：生徒の考え重視(生徒に考えさせる)

←×→○寺子屋方式 ⇒ 活かせる

現在は宗教・倫理教育軽視：家庭に任せる

←×→○寺子屋方式 ⇒ 活かせる

現在の公民教育：国家主義的

←×→○寺子屋方式 ⇒ 活かせる

注。現在の理系教育：不偏法則重視(生徒には疑わせない)

←同じ→○寺子屋方式 (疑わせない)

結論 「情報の倫理」は寺子屋方式が適している

一方、原理は情報科の中に無い、原理は倫理学の中

⇒・・・⇒情報科教員が詳しく扱う事は不可能(不必要)

# おわりに

- 寺子屋の歴史、スペックをまとめた。
- 寺子屋のカリキュラム、教科書をまとめた。
- 教授方針を紹介し、現在の初等道徳教育との相違点を挙げた。
- 現在の情報倫理に活かせる項目を挙げた。

# THANK YOU

C. 授業する立場からまとめたのがオリジナル(T)

C. 寺小屋だと思っていた。

写経は重要。授業で実施している。(A)

Q. 15, 6歳から成人。15, 6歳だと成人。それと関係？(O)

A. 関係ある。成人するまでが、寺子屋。

C. 後からそうだったのか、と思うのは評価されない。インスタントにわかるのが評価される。(A)

C. 紙世代は（目で見るとその他で）手書き動作で覚えた。電子機器世代はどうやって覚えているのか確かめることは重要。教育のやり方につながる。(O)

C. 安齋氏のやり方をまとめるのは価値がある。(O)

C. レビューは具体的に文章で書く。対面時は赤入れで通じた。今はちゃんとした文章でないと伝わらない。今は、ちゃんとした文章を書けることは重要。(O)

C. 企業は即戦力を求めている。言われたことだけ実行するのではなくて、言われたことを理解して実行する人が即戦力。(O)